

Basic information

法人設立年月日	2018年12月25日
指定年月日	2019年2月19日
資本金等	2,000千円
株主・構成団体等 (出資割合)	神戸新聞社、株式会社NOTE
職員数	32名（うち正社員0名）

Project

1 文化財の活用

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ NIPPONIA播磨福崎 蔵書の館

県指定文化財「大庄屋三木家住宅」を全国初の文化財活用ホテル・レストランとして改修、運用。地元関係者と連携し、ホテルを拠点としたまちあるきツアーやアクティビティを造成し、観光振興に取り組んでいる。



3 食文化を創造する事業

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ シェフズ・イン・レジデンス、ローカルチャレンジプロジェクト、食コンテンツの開発、販売

シェフズ・イン・レジデンス(食文化創造の担い手を発掘)やローカルチャレンジプロジェクト(生産者などを対象にセミナーやチャレンジショップなどの実施)、地元生産者と連携し、お土産など開発を行う。

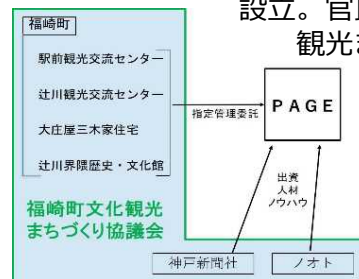


■ 法人の紹介

兵庫県の地方紙「神戸新聞社」と古民家の活用などに取り組む「一般社団法人ノオト」（兵庫県丹波篠山市）が、共同出資により設立したまちづくり会社。双方の強みを活かしながら古民家や文化財の面的な活用と地域の賑わいづくりに取り組んでいる。

■ 官民連携による事業推進体制

2018年3月、福崎町、ノオト、神戸新聞社（同年12月からPAGEとして）、「福崎町文化観光まちづくり協議会」設立。官民連携で、観光まちづくり事業を推進。



Hot topic

■ 2020年11月1日「全国初 文化財ホテル開業」

福崎町出身で日本民俗学の父・柳田国男が少年期に蔵書を読みふけた県指定文化財「大庄屋三木家」が、ホテルに生まれ変わった。全国初の文化財活用ホテルとして多くのメディアから取材を受けている。



Tool

活用している各種まちづくり制度

制度の種類	活用	締結・活用時期
①都市再生整備計画の提案	✓	2018年
②道路占用許可特例制度の活用		
③都市公園の占用許可特例制度の活用		
④都市利便増進協定の締結	✓	2019年3月27日
⑤都市再生整備歩行者経路協定の締結		
⑥低未利用土地利用促進協定の締結		
⑦公園施設設置管理協定の締結		

2 観光交流センターの管理運営

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ 福崎町駅前・辻川観光交流センター

福崎町の二つの観光拠点となる駅前・辻川観光交流センターを町からの委託を受け施設のコンセプトづくりから内装設計を行い、オープン後は指定管理者として両館を管理運営。



4 定住促進、人材確保事業

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ 地方が面白くなる大学ゼミツアーなど

若者に地域の魅力を体感してもらい、その魅力を若者目線で発信する「地方が面白くなる大学ゼミツアー」や子育て支援に繋がるワークショップイベントなど地方への定住促進や人材確保に繋がる事業を展開。

